

# 30周年記念誌

SINCE 1973



**草津少年ラグビースクール**

**草津市ラグビーフットボール協会**

## < 目 次 >

|                                         |       |
|-----------------------------------------|-------|
| 歴代スクール校長・市ラグビー協会長・・・・・・・・・・・・・・・・       | 2     |
| スクールの思い出 草津ラグビースクール 校長 九谷 修・・・・・・・・     | 3     |
| 挨拶 草津市ラグビーフットボール協会 会長 奥村恭弘・・・・・・・・      | 4     |
| 祝辞 滋賀県ラグビーフットボール協会 会長 山崎甚右衛門・・・・・・・・    | 5     |
| お祝いの言葉 草津市体育協会 会長 中瀬利和・・・・・・・・          | 6     |
| スクール発足当時を振り返って・・・・・・・・・・・・・・・・          | 7     |
| (高田 達・川井嘉典・堀田制省・高岡英貞・堀井三広)              |       |
| 楽しいラグビースクールを目指して 堀田制省・・・・・・・・           | 13    |
| ラグビーの思い出 高岡英貞・・・・・・・・                   | 14    |
| スクール30周年によせて 指導者 下山元明・・・・・・・・           | 15    |
| 楽しむラグビーをモットーにして 指導者 田中聖一・・・・・・・・        | 15    |
| 私のラグビーとの出会い 指導者 内山浩一・・・・・・・・            | 16    |
| ラグビーを振り返って 玉川高校ラグビー部監督 奥野晃広・・・・・・・・     | 16    |
| 松原中学校ラグビー部について 草津中学校教諭 高野昭次・・・・・・・・     | 17    |
| ラグビースクールの思い出 昭和50年3月修了生 山本浩房・・・・・・・・    | 18    |
| 30周年おめでとうございます 昭和51年3月修了生 村田惣一郎・・・・・・・・ | 18    |
| 祝30周年 昭和58年3月修了生 東谷正宏・・・・・・・・           | 19    |
| ラグビーについて 平成9年3月修了生 田中聖人・・・・・・・・         | 20    |
| ラグビースクールでの経験を経て 平成11年3月修了生 越川 翔・・・・・・・・ | 20    |
| ラグビースクールで・・・平成14年3月修了生 内山良太・・・・・・・・     | 21    |
| 3人の息子がお世話になりました 保護者 澤田敬一・・・・・・・・        | 22    |
| 思い出の写真集・・・・・・・・                         | 23～34 |
| スクール指導者名簿・協会役員名簿・編集後記・・・・・・・・           | 35    |
| スクール旗・ジャージ・・・・・・・・                      | 36    |

草津少年ラグビースクール校長



初代校長（昭和49～50）  
駒井昇一郎



二代目校長（昭和51～現在）  
九谷修

市ラグビーフットボール協会 会長



初代協会長  
（昭和48～平成9）  
高田達



二代目協会長  
（平成10～13）  
堀田制省



三代目協会長  
（平成14年～現在）  
奥村恭弘



## ラグビースクールの思い出

草津少年ラグビースクール

校長 九谷 修

草津少年ラグビースクールの30周年を迎える事ができ、校長として感慨無量であると共に、指導者を始め協力いただいた関係者の皆様に厚くお礼を申し上げます。

当時のことを思い出すと、昭和48年10月10日（体育の日）草津第二小学校体育館で草津少年ラグビースクールの開校式が行われた。原山・県ラグビー協会長、中村頼之・市教育長、その他、多数の来賓を迎えて盛会裏に進められ、感激と興奮の中に終始した。校長に眼科医の駒井昇一郎氏、副校長に高田達・膳所高校教頭、コーチに草津高校の堀田制省・川井嘉典・高岡英貞の3教諭、草津市役所の堀井三広氏が決まり、医務委員を九谷 修、西田桓一郎の2医師が担当することとなった。

生徒は草津市在住の4年より6年迄、例外として堀田制省先生と私の長男と伊倉君の3年生3人が入校を認められた。華々しい門出となった。月2回の日曜日、草津第二小学校や草津小学校のグラウンドを使用させて頂き、チビッコ・ラグーマンの出現は市内で大きな話題になった。生徒数は50名を超え、出席率もよくチーム編成に当たってコーチの不足は免れず、草津高校ラグビー部OB・松下電器産業・ダイハツディーゼルのラグビー部より応援をしていただき、徹底的に基本を忠実に教えていただいた。

49年秋、駒井校長が病魔に倒れ、翌50年3月22日逝去された。

後任の校長に医務委員を兼ねて私が校長に推挙された。市民の興望をうけてスタートしたラグビースクールの前途を考え、その責任の重大さを痛感したことを思い出す。

当時は全国的にラグビーの関心は高く、ラグビー日本選手権で新日本製鉄釜石が黄金時代を迎えようとしており、全国大学選手権では早稲田大学が王者の風格を恣いままにしていた。

高田副校長以下コーチ全員一丸となってチビッコ・ラグーマンの育成、鍛錬に精力を傾けていただいた。夏の桐生キャンプでお互いの友情を温め、秋の市民体育大会、正月の「ぜんざい会」、冬季の希望が丘でのラグビースポーツ少年団大会等々により、強力な瀬田、彦根、近江八幡、石部、野洲、のチームに対抗できる出来るチーム作りに万全を期して頂いた。県内各チームとの対抗戦は良き思い出である。

昭和54年頃より松下電器産業の下山元明氏がコーチに加入して頂き、中心的存在、又コーチのリード役として今日までの不断の努力にて確固たる基礎を築くことが出来ました。又20周年には、特別企画として、私の故郷でもある福井のラグビースクールと対抗戦を行い素晴らしい成果をあげました。

サッカー・野球が盛んになり、年々生徒の参加率が低下し、その対策が今後の課題です。

数年前より奥村恭弘様が参加され、松下電器産業のグラウンドの使用他、スクールの発展に積極的に寄与され、今日を迎えることが出来、感謝している次第です。

最後に初代校長、駒井昇一郎氏のご冥福を心よりお祈りいたします。

40年、50年に向かって草津少年ラグビースクールの洋々たる前途を願い、次の世代に引き継いで頂ければ之に過ぎる喜びはないと思います。



## 挨拶

草津市ラグビーフットボール協会

会長 奥村 恭弘

草津少年ラグビースクール、草津市ラグビーフットボール協会の結成30周年を皆様と共に迎えることができました。これまでの歴史の中で、ご指導をいただきました諸先輩方、子どもたちが参加できる環境をおつくりいただきました保護者の皆様、そして、現在お世話になっております指導者の皆様に改めて感謝申し上げます。

草津市におけるラグビーフットボール競技の道程は、滋賀国体（びわこ国体）の開催決定を契機として、競技の普及・振興を目的に昭和48年10月から結成された草津少年ラグビースクール、草津市ラグビーフットボール協会の誕生にあり、私も「びわこ国体 少年の部」に出場した者として、結成30周年を迎えたことを光栄に思いますと共に運命を感じております。

ラグビーフットボール競技は、ひとつの楕円形ボールに1チーム最大で15名、試合では最大30名が同時に働きかけるスポーツであり、これだけ多くの人が同時に運動するスポーツは、他に類をみません。プレーヤーには、ポジションごとにそれぞれ役割があり、その役割は、互いに助け合いながら、生み出される相乗効果によって大きなものへと変って行きます。このことは、「ひとりとは、みんなのために。みんなはひとりのために。」という言葉に代表されるラグビー精神にあてはまります。また、「ノーサイド」という言葉は、試合中、互いに激しくぶつかり合っている「ノーサイド」というレフリーの言葉によって互いの健闘をたたえ、同じ競技を愛するもの同士、敵と味方が無くなるというものなのです。

ひとり一人が体の大きさや気性の違う、個性豊かな歯車とするならば、こういった精神の中で活動してきた人たちならば混迷を続ける社会生活の中で、大きな力を発揮して社会の一員として役割を果たすことができるものと信じています。

これからも皆様と共に、この精神を引き継ぎ、市民スポーツの更なる向上に鋭意努力する決意でありますので引き続き、ご支援を賜りますようよろしくお願い申し上げます。



## 祝 辞

滋賀県ラグビーフットボール協会

会長 山 崎 甚右衛門

草津少年ラグビースクールならびに草津市ラグビーフットボール協会の３０周年、おめでとうございます。心からお喜び申し上げます。

昭和５６年に「びわこ国体」のラグビー競技が、野洲町の県立希望が丘文化公園で実施されて２０年以上が経過しました。

この「びわこ国体」開催決定を契機にして、県下にラグビースクールが誕生し、現在も草津を含め四つのスクールが熱心に活動しておられます。

春と秋には希望が丘でスクールの交流試合が行われ、子供たちは日頃の練習成果を発揮し、ラグビーを楽しむと共に、スクール間での友情を育んでいます。

また、これらのスクールのある各地域では、市町単位のラグビー協会が機能してラグビー際などのイベントで、ラグビーの普及・振興にご尽力されておられます。関係者各位の熱意と努力には、頭が下がる思いです。

滋賀県協会でも、今年度より新たに普及強化委員会を設けました。ラグビーの普及に今まで以上に力を入れることで、ラグビー人口の裾野を広げ、この成果がそのまま滋賀県ラグビーの強化につながっていくと考えたからです。

ここ数年、ラグビーの競技人口が減少しています。危険できつく、汚いというイメージからでしょうか。しかし、本来ラグビーは、プレーしても観戦しても楽しいスポーツです。この楽しさを幼少時代から体験できるラグビースクールは、大変貴重な存在になっています。３０周年を迎えられた草津スクールでは、卒業生の二世たちが楯円球を追いかけているのかも知れませんね。

最後になりましたが、３０年の永きにわたり草津スクール・草津市協会を支えていただきました皆様方に敬意と感謝を申し上げますと共に、貴スクールのご健闘と貴協会のご発展をご祈念申し上げ、お祝いのごあいさつといたします。



## お祝いの言葉

草津市体育協会

会長 中 瀬 利 和

草津市ラグビーフットボール協会発足30周年、真におめでとうございます。

また、これを機に記念誌を発行されますことは大変意義深く心からお祝い申し上げます。

貴協会におかれましては、滋賀国体の開催を契機にラグビーの普及、振興を目的に設立されました。それと同時に草津少年ラグビースクールを開校し、協会の発展は底辺の拡大がまず第一という趣旨で今日まで継続してラグビースクールを開催し少年達の育成に努めて来られました。

このことは、これまでに草津市から県内に数多くの優秀な選手や指導者を輩出し、ラグビー界の発展に大きく寄与されたところであり、心より敬意を表する次第でございます。

今年度は日本代表チームが豪州でのワールドカップに参加し、これまでにない戦績を残し話題になりました。また、国内ではジャパンラグビートップリーグを発足させ国内のトップチームの競技力の向上に努められ、今後益々ラグビー競技が普及発展する兆しを見せております。

こういった機に草津市の小学生をはじめ高校生のラグビーチームや一般クラブチーム、更に貴協会が一丸となって競技力の向上、組織の充実を図られて草津市スポーツ振興の原動力になっていただくことを期待しております。

最後にまりましたが、30周年を機に貴協会が益々発展されますことを祈念いたしまして、お祝いのことばといたします。

## スクール発足当時を振り返って（座談会）

12月14日（日）午後3時～5時 於：矢倉公民館



（川井）

（堀田）

（高田）

（高岡）

（堀井）

### <出席者（左から）>

川井嘉典：元湖南農業高校校長

堀田制省：元草津高校教諭

高田 達：元石山高校校長・元県ラグビー協会副会長

高岡英貞：元湖南農業高校教諭

堀井三広：草津市役所

### <スクール発足の経緯について>

堀井：本日はお忙しい中、スクール開校時に関わった先生方に集まっていただきました。

30年前のことで思い出せないこともあると思いますがよろしくお願いします。

まず、最初にスクールをやろうと言い出した人は、誰か確認をしたいのですが。

どなたかご存知ですか。

高田：確か、草津でラグビースクールをやろうと言い出したのは、私が県のラグビー協会の副会長をしていた時で草津高の堀田先生だったと思う。

堀田：昭和48年の4月に八幡工業高校から草津高校に転勤になって、少し経った頃に滋賀国体が昭和56年に開催されるという情報が入り、ラグビーの底辺拡大を図る必要を感じたことや、私の息子が小学校3年生になり、ラグビーをやらせたいと思ったことが大きな動機です。

また、県協会の副会長の高田先生が草津に住んでおられたことや、草津市役所にラグビー経験者の堀井さんがおられることを聞き、草津でラグビースクールをつくろうと思ったわけです。

さらに、滋賀県で最初のラグビースクールをつくった瀬田小の西田幸雄先生とは、滋賀大の同級生で一緒にラグビー部でやってましたので、以前からラグビースクールには関心があったんです。

川井：堀田先生が草津高に來られ、ラグビースクールをつくろうということで、私の他に、高田先生や高岡先生や堀井さんがお手伝いをし、一緒になってつくったんです。

堀井：スクール発足にむけた打ち合わせ会は5回開いていますが、第1回は、昭和48年の7月3日に高田先生のお宅で、高田先生・川井先生・堀田先生・北居晴彦先生・西田幸雄先生と私の6人が集まって、西田先生から瀬田小学校ラグビー教室の報告を受けた後、名称・募集・ユニホーム・練習日等について協議した記録が残っています。

また8月3日には、草津高校で高田先生・川井先生・堀田先生・高岡先生・北居先生と私の6人が集まって、堀田先生から日本ラグビー協会主催の中央ラグビースクール指導者講習会に参加された報告を聞いたり、会費・指導者等について協議しています。9月22日には、初代校長になっていただいた駒井先生宅で最終の協議をしています。

堀田：中央ラグビースクール指導者講習会は長野県の菅平で開催されたのですが、私は息子と一緒に参加しました。そこで主に大阪ラグビースクールのやり方を学んできたように思います。

#### <開校式について>

高岡：開校式の写真を持ってきました。

川井：スクールの校長をしていただいた駒井昇一郎先生や、県ラグビー協会会長の原山・膳所高校長も写っている。懐かしいな。みんな若いな。この場所はどこな。

高岡：草津第二小学校の体育館だと思う。

堀田：この時は生徒が63名集まった。大勢集まったので、指導者も多く必要でグループ分けをして練習していた。

生徒の募集は小学校の4年生～6年生となっていたが、私の息子と現ラグビースクール校長の九谷先生の息子さんの剛君と伊倉哲夫君の3人は、3年生で入れてもらっていた。

#### <駒井昇一郎校長について>

堀井：駒井先生にスクールの校長にお願いされたのは、どういう経緯から、また、どなたがお願いされたのか、ご存知ですか。

高田：駒井先生は京都府立医大のラグビー部でスクラムハーフをやっておられ、OBチームでも活躍されていたことを知っていたことと、私と駒井先生はキリスト教・草津信愛教会のクリスチャンということでもあり、旧知の間柄でしたので、私がスクールの校長になってもらうよう頼みに行き快諾していただきました。

川井：駒井先生は膳中の先輩でもあるが、人付き合いが大変良い人で、顔が広く、人望があり、確か草津市教育委員会の教育委員もされていたように思う。

堀井：昭和42年10月から昭和46年10月まで教育委員をされていました。

高田：たいへん良い先生を校長になっていただいたのに、開校後1年余り経った頃に入院

されお亡くなりになったことは非常に残念でした。

高岡：当時、駒井先生の医院は患者がたいへん多くて無理をされていたのかなと思う。

川井：立派な方だっただけに亡くなられて本当に残念でした。

高田：駒井先生が亡くなられたので、その後は、開校時から医務委員をしていただき、息子さんもスクールに入っておられた九谷先生に校長を引き受けてもらいました。

堀井：昭和50年の生徒募集は、校長名を九谷先生の名前でやっています。

川井：九谷先生も確か海軍士官学校時代にラグビーを経験されていた人で、ラグビーに理解のある良い人になってもらえたと思う。

<ラグビー精神について>

堀井：ラグビーはイギリスで誕生したスポーツのため、「紳士のスポーツ」と言われることや、フェアプレイ、ノーサイドの精神を生徒に教えたつもりです。

また、ラグビーはゲームの日が決まれば、雨が降っても中止にはなりません、これは、約束をしたことは必ず守るという、英国紳士の伝統からきていますが、このようなことも子供達に知ってほしいですね。

川井：ラグビーはぶつかり合いがあるため危険なスポーツと思われがちだが、すり傷ぐらいはあるが、骨折とかの大きな事故は無かったと思う。むしろ、15人というプレイヤーで競技するため、チームワークや助け合いが必要とされ、ラグビーをやることで体力や技能を向上させるだけでなく、仲間づくりや友情を育むという効果もあり、子供の教育上からも、非常によいスポーツだと思う。

高岡：ラグビー精神（スピリット）ということで、いつも言われる「One For All, All For One（一人は皆のために、皆は一人のために）」の考えは、すばらしい考えだと思う。

堀井：英国のラグビー校でエリス少年がフットボールの試合に熱中し、ボールを抱えて突進した「純情の破綻」がラグビーの始まりですが、ラグビースクールを通じて何事にも熱中して取り組める子供たちを育てることが出来ればと思います。

高田：ラグビーの技術的な指導と併せラグビー精神の体得も大切ですね。

<行事等について>

堀井：スクールの行事の中で、キャンプの思い出も懐かしいですね。当時、キャンプは大津市にある営林署の桐生キャンプ場でおこない、最初の頃は、草津第二小からキャンプ場まで草津川の堤防を歩いて行った記憶がある。

また、現地でオリエンテーリングをやり、山の中を歩き回った記憶もありますね。

今思えば、相当ハードな行程で、指導者も終わったらクタクタだった。

当時の生徒はそれでもついて来ていたので、結構体力があったのかなと思いますね。

高岡：第1回のラグビースポーツ少年団大会の時に、瀬田工高へ生徒を引率して行った記憶があります。

堀井：第1回のラグビースポーツ少年団大会の写真がここに 있습니다。

開催日は昭和49年2月24日です。

川井：挨拶をされている人は、瀬田の松田九左衛門さん（県ラグビー協会・副会長）のようだ。

堀井：第2回の大会は、昭和50年2月11日に草津市の野村グラウンドでやっています。写真もあります。

川井：小西 実さんが挨拶されている。なつかしいね。

堀井：この大会は今も続いており、今年度で31回になります。

堀田：正月には、草津高の合宿所で「ぜんざい会」をやって、これも恒例の行事になっている。

高岡：合宿所は、今はないが、木造の平屋建てだった。

堀井：草津高での「ぜんざい会」の写真もあります。駒井先生と中村頼之教育長も写っています。駒井先生が46年まで教育委員をされていた関係で、中村教育長も出席していただいたものと思われます。

堀田：私も甘いものは大好きな方だが、生徒の中には何杯もおかわりする子がいた。

<指導者について>

堀田：指導者の中で、開校当初は、草津高ラグビー部OBの木村政隆（草津市役所）・永田平 仁・三上英昭君などがよく来てくれた。

生徒たちも兄のように思い、慕っていたように思う。お世話になった。

堀井：他にオムロンの岩坂さんや瀬田工高出身の山田次男君も来てくれました。

永田平君などが就職して参加できなくなった後は、守山のダイハツディーゼルの平木久猶さん・加瀬信男さん等が指導に来てくれました。

その後、草津高のOBの中島祥蔵さんや、東レ（長岡産業）でラグビーをやっていた宮本修司さんにもお世話になりました。宮本さんも熱心に指導していただきましたが、残念ながら病気で亡くなりました。

現在の指導者は松下エアコンにおられた下山元明さん、高校時代に大阪でラグビーの経験のある、関西電力の田中聖一さん、長崎大でラグビーをやっておられクボタへ勤務されている内山浩一さん、それに松下エアコン（草津市議会議員）の奥村恭弘さんです。

奥村さんは八幡工高時代に当スクール出身の村田惣一郎君とラグビー部と一緒に、滋賀国体のメンバーでした。また、奥村さんには、市ラグビー協会の会長をいただいています。

九谷先生・堀田先生のお二人とも、息子さんがスクールの生徒でしたが、現在の指導者の下山さん、田中さん、内山さん、奥村さんの指導者の方も、息子さんはスクールの生徒です。

川井：スクールの事務局は堀井さんがやってくれたね。

堀井：当時は主に草津小や草津第二小のグラウンドで練習をしておりましたが、練習場所を

確保するのが大変でした。今は奥村恭弘会長のおかげで、松下エアコンのグラウンドを借用できますが、当時は、毎月、学校長あてに使用申請書を出し、許可書をもらう必要があり大変でした。

今は、スクールの事務局は松下エアコンを退職された下山さんです。

<生徒について>

高岡：スクールで小学生にラグビーを教えても、高校にはラグビー部があるが、草津の中学校でラグビー部が無いため、途切れるという悩みがありましたね。

堀田：中学校ではクラブは無かったが、村田惣一郎君は八幡工高へ進み、国体の少年の部のオール滋賀のキャプテンになって活躍してくれた。彼はその後、日本大学へ進学し、大学でもラグビーをやり、レギュラーだった。また、大学では東西対抗戦にも選ばれるなど活躍してくれた。

また、今年、花園に出場する八幡工高ラグビー部の監督の東谷先生も当スクール出身ですよ。

堀井：去年は膳所高ラグビー部が花園に出場しましたが、そのメンバーの中にもスクール出身の田中聖人君がいます。現在、指導していただいている田中聖一さんの息子さんです。

川井：スクール出身者が活躍してくれると、指導者する側もうれしいですね。

<草津市体育協会への加盟について>

堀井：草津市ラグビー協会の設立の経過についてお話して頂けませんか。

堀田：スクールを創った時、滋賀大の先輩で八幡工高の小西 実先生から、スクールが出来たのに市の協会が無いのはおかしいので、早く協会を作るようにと言われたことを覚えている。

堀井：昭和49年2月24日の第1回のラグビースポーツ少年団大会の開催要項では、主催者の中に草津市ラグビー協会の名が入っています。また、草津市の体育協会へは昭和50年に加盟申請しています。

堀田：草津市ラグビー協会の発足は、スクール発足の48年に組織し、草津市の体育協会に昭和50年に加盟したということで、いいのではないかと。

高田：確か、川井先生に当時の草津市体育協会の会長の中野正雄さんの所へ、加盟のお願いに行ってもらったと思う。

川井：はっきりとは思い出せないが、野路の中野正雄会長さんならよく知っていたし、私がお伺いして状況を説明し、加盟をお願いして来たと思う。

堀田：当時の市ラグビー協会の役員は、会長が高田先生で理事長が川井先生でした。各チームから理事が出て、高岡先生は会計でした。

堀井：市ラグビー協会の会長は、初代が高田先生で、次が堀田先生で、その次が今の奥村恭弘さんです。また、理事長には、川井先生の後には堀田先生、その後は玉川高校の奥野晃広先生にやっていただきました。奥野先生には草津高校の時代から理事長を

してもらって、市民体育大会の会場に草津高や玉川高のグラウンドを借りたり、部員にラインを引いてもらう等、大変お世話になってます。

#### <市民体育大会について>

高田：協会の大きな行事は市民体育大会でしたね。

堀井：第1回の市民体育大会のプログラムを見ると、昭和50年11月2日に野村グラウンドで開催されています。

当時のプログラムを見ると、参加チームは一般の部が草津高OB・積水ハウス・草津市役所・ダイキンの4チーム、それとラグビースクールとなっています。

堀田：春にも協会主催の大会をやった覚えがある。

堀井：51年の6月13日に草津市ラグビー選手権大会をやった記録があります。

場所は草津高で参加チームは草津高OB・ダイハツ・草津市役所・松下エアコン・積水ハウスです。

その後、一般の部の他に、高校の部を加えて草津高校と玉川高校の対戦や、松原中学校のラグビー部ができてからは中学校の部も加えて、ラグビースクールの紅白戦もあって、結構盛り上がっていた時期がありました。

今年度は、クラブチームの「リゲルサントス」と玉川高校・瀬田工高とスクールの参加で、玉川高校の奥野先生の指導の下、参加者全員をミックスしてグループ分けして、タグラグビーをして楽しみました。

リゲルサントスでは当スクール出身の山田昌弘君が頑張ってくれています。

#### <中学・高校のラグビー部について>

堀田：中学校も一時、松原中学校でラグビー部が出来ていて、結構強い時もありました。

堀井：膳所高ラグビー部OBの高野昭次先生が松中にいた時にラグビー部を創ってくれ、強くなって近畿大会へ出たりしていたんですが、部員の減少や転勤等で残念ながら無くなりました。

川井：草津高のラグビー部はどうなっている。北居晴彦先生が新採で草津高へ来られて、私等一緒に部を創った思い出があるんだが。もうないのかな。

堀田：強い時もあったんだが。残念ながらなくなってしまった。

今は、草津市内で玉川高校だけになってしまった。

川井：残念だが、なんとか再建できないものかと思うね。

高岡：それと、中学校にもラグビー部が出来てほしいと思う。

#### <まとめ>

高田：この30年間、いろんな人にお世話になり感謝しています。以前に比べ、チーム数も減少したが、皆さんや若い人の力で、ラグビー協会やラグビースクールを盛り上げて欲しいと願っています。よろしくお願いします。

## 楽しいラグビースクールを目指して

堀 田 制 省

草津ラグビースクールは県の協会の皆さん、地域の方々、ラグビースクールのスタッフの熱意と協力によって生まれました。思い返して見ますと、県のラグビー協会の理事長をされました高田・小西・北居の各先生、初代校長の駒井先生、現校長の九谷先生、私と同じ草津高校ラグビー部顧問の川井・高岡の両先生、市役所の堀井さん、それから私と大学でラグビーをやった仲間である瀬田小学校ラグビースクールの西田先生、若くて頑張ってくれた指導者の草津高校ラグビー部 OB の木村・木内・青木・永田平・田代・三上・田淵、それから膳所高 OB の村松、瀬田工高 OB の山田、オムロンの岩坂の各皆さんの協力の賜物だと思います。

最初は小学生4年生以上で募集しましたが、集まるは集まるは63名も集まりました。3年生からも九谷先生の息子さん、私の息子、それから伊倉君が特別に入校しました。

私と大学でラグビーをやった仲間が京都・大阪におり、京都・大阪ラグビースクールの運営方法や指導方法をモデルにしました。また、夏休みには菅平で行われた全国ラグビースクール指導者講習会合宿に参加、ラグビースクールの運営方法、指導方法、安全指導等について多く学習して来ました。

菅平で行われたラグビースクールの合宿でチビッコが生き生きとして楽しくやっている姿を見て、これが一番大切だと考え、楽しいラグビーを子供達に身につけさせる。お互いに助け合う心を持った、たくましいラグーマンを育てることを目標にした。

初めてラグビーをやるチビッコが63名もいるんですから大変です。15、6名ずつ4班に分け、指導者を3名ずつで教えることにしました。

指導内容については楽しいゲーム方式を取り入れながら基本技術を身につけさせるようにしました。如何なるゲームを取り入れるか、そのゲームで如何なる基本技術を身につけさせるか、やる重点ポイントは何か等、指導方法を毎日プリントして班ごとに指導してもらうことにした。

行事の中には、遠足、オリエンテーリング、キャンプ、瀬田ラグビースクールとの定期戦、花園ラグビー場での全国大会観戦、正月のぜんざい会等、楽しさいっぱいのものを計画した。

最後になりましたが、草津ラグビースクール出身者の中には、膳所高校、八幡工業高校でラグビーをやり全国大会に出場し活躍した人、また高校で柔道・サッカー・陸上をやり全国大会へ出場頑張っている人もいます。

この様にラグビーを愛し、スポーツを愛する人が一人でも増えたら良いなあと思います。

## ラグビーの思い出

高岡英貞

記念誌の原稿依頼の手紙を頂き、草津少年ラグビースクールが開校されて今年が30周年の記念すべき年とのこと。当時を偲び懐かしく感じております。

開校当時には、眼科医の駒井先生を校長に草津少年ラグビースクールが結成され、数年後、二代目校長に九谷先生をお迎えする事ができ、膳所高校・草津高校のラグビー部顧問の先生方と両校ラグビー部OBの方々により子供達の指導に当たられた。

草津小学校グラウンドに集まってくる数十名の元気な子供の姿が思い出される。保護者の方々もラグビーに対し理解と協力があり、子供達の練習を見守られていた風景が今も目の当たりにする。

瀬田ラグビースクールとの交流試合、又、毎年恒例のお正月の初練習後のぜんざい会、その他数多くの楽しい思い出があり、その当時の事が昨日の様に思い出される。

当時の少年達が練習に励む姿を見て、指導者としては小学校卒業後、中学校に於いてもラグビーを続けてほしいという思いがあった。しかし中学校ではラグビー部の活動はなく、その点が指導者としてはちょっぴり寂しかった。

ラグビーは、ボールを抱えて走る敵にタックルして倒したり、両チームがスクラムを組んで押し合う等、まさに男性的な勇壮なスポーツである。明治32年、慶応義塾の英語教師として新任したイギリス人クラーク（ケンブリッジ大卒）により、英国の国技であるラグビーが我が国に伝わり現在も冬のスポーツとして盛んに行われている。

私は70歳の坂を越えた今でもラグビーが好きである。時々開催されるラグビーをテレビ観戦している。汗にまみれグラウンドを駆け回る姿、ノーサイドとなれば敵も味方もない汗と涙に心が癒される。

最後に私の好きなラグビーの句を掲げる

ラグビーの敵の汗に触れて組む      日野草城

ラグビーの倒れし顔の芝にあり      三宅二郎

ラグビーの殺到しくる顔ゆがみ      下村 福

ラグビーのジャケツちぎれて鬨える      山口誓子

ラグビーの今終わりたる笛高し      井桁蒼水



## 草津ラグビースクール30周年によせて

指導員 下山 元 明

開校30年の節目に当たり、開校時に尽力された先生方のご苦勞に感謝申し上げます。スクールの指導を始めて24年目になりますが、当時は生徒数も60名を越えていました。

夏のキャンプも大きい荷物を背負って自転車で草津川沿いを走って、桐生まで行きました。また、スクール出身の生徒で膳所高校より滋賀県代表として、全国大会の花園に出場した人、国体の県代表に選ばれた人、現在高校で活躍されている人も多数います。

スクール20周年の時はバスを貸切、福井県まで遠征に行き、各学年とも勝利をおさめました。そして交流を深めた後、和紙の里や東尋坊を見学し、楽しい一日を過ごしました。

スクール開校以来、大きな怪我人や事故も無く過ごして来られた事を誇りとし、これからも子供達にラグビーの楽しさ面白さ、また「ワン・フォア・オール、オール・フォア・ワン」「一人は皆の為に、皆は一人の為に」の心を持って、楽しくラグビーを続けて行きたいと思います。

近年ラグビー人口の減少傾向が続いていますが、トップリーグも今年より始まり、プロ化へと進んでいます。

ラグビーの楽しさをより多くの人に知ってもらい、そしてラグビー人口が増える事を信じて、これからも頑張って指導に当たって行きたいと思います。



## 楽しむラグビーをモットーに

指導員 田 中 聖 一

ラグビースクール開校30周年おめでとうございます。

私が小学生のみんなと一緒にラグビーをするようになって早や13年が経ちます。

息子がスクールにお世話になったのがきっかけでした。

その頃の練習グラウンドは草津第二小で野球との共用の為、コンビネーション練習もままならぬ状態でした。

現在は広々とした松下グラウンドの練習ですが、生徒数がここ数年15名前後の為、紅白戦も出来ない状態が続き少し寂しい気持ちです。ただ救いは、子供達が毎回の練習に参加してくれることです。

私のモットーは、「楽しくする」、「無理なく」です。

「楽しく」には、どのようなスポーツにも「する楽しみ」と「勝つ楽しみ」があると思い

ます。私自身、高校・社会人とラグビーを続けてきて思うことは、「勝つ楽しみ」を突き詰めていけば一部の選手にしか味わえませんが、「ラグビーを楽しくする」は誰もが味わえるものです。

また、体力・年齢・生活にあった無理のないプレーをすることにより、長く「ラグビーを楽しくする」事が出来と思います。



## 私のラグビーとの出会い

指導員 内 山 浩 一

なぜ、私がラグビーと縁が出来たのか思い起こすと、大学に入っただけの新入生の説明会のとき、とても怖そうな大学のラグビー部の先輩方が、「体格が良いか、足の速そうな生徒」を探していた。

私は体も小さく、足が速そうにも見えない。しかしなぜか、声をかけられ、怖そうな先輩だったので、ラグビー部に入らなかったら大学にいられないと思い、ラグビー部の門をたたいてしまった。

それが私のラグビーの関わりの始めでした。しかしながら、やり始めたら、練習はきつけど、球技の要素、格闘技の要素、陸上競技の要素と様々なスポーツが楽しめるし、体のサイズにあったポジションも用意されており、のめりこんでしまいました。

就職し、大阪枚方市で枚方ラグビークラブに入った関係で枚方ラグビースクールの子供たちと一緒にラグビーをやったりしました。

その後、会社の転勤で滋賀に転勤し、年齢的にも現役ラガーを引退したとき草津ラグビースクールと縁あって二男とお世話になりました。

今は、草津のこども達と一緒に楽しく、時には厳しく練習することで若い日本の将来を担うこども達から、色んなことを学び、ラグビーの良さを再認識する今日この頃です。

## ラグビーを振り返って

玉川高校 ラグビー部監督 奥 野 晃 広

今から思えばラグビー協会との関わりの中で、ラグビーの歴史を歩んできたものだなあと感じております。

やはりその中で触れねばならないのはラグビー人口の隆盛でしょうか。私が前任の学校に勤務した頃の頃は、まさにラグビーの絶頂期。入学してくる生徒が、迷わずラグビーを選ぶような頃でした。もちろん生徒達の中でも「ラグビー」というものは、ある種のあこがれをもった響きの言葉として受け止められていたように感じます。

したがって、ラグビー部を選んだ生徒は、いつもこのスポーツをやっているプライドを持っているようでした。どんな仲間に対しても「俺は、ラグビーをやっているんだよ。」というような、誇らしげなスタンスを私も感じておりました。

生徒達のラグビーへの思いがこうなのですから、ラグビープレーヤーの人数も本当に多かったと思います。それが草津市民体育大会ラグビー部門を支えてきた主因でした。高校チームだけでも複数チーム参加してましたし、ジュニアチームまで含めれば本当にたくさんゲーム数がありました。ラグビー祭などでは、大人から子供まで、文字通り「おまつり」の感がありました。本当にラグビーが人気を博した、最良の頃でした。

残念ながら、ラグビー人気は下降し出したのは、皆さんご存知のことです。あれよあれよと言う間に他競技の人気が高まり、ラグビー人口減少の憂き目を見ることになってしまいました。この草津でもラグビーを選ぶ生徒もあつという間に減り、チームを維持していくことすらなかなか難しい世の中となりました。

またあの「おまつり」の時代の到来を祈願しながら、今後も協会との御仕事に関わっていかうと考えております。

## 松原中学校ラグビー部について

草津中学校 教諭 高野 昭 次

草津市ラグビー協会創立30周年おめでとうございます。

関係者の皆様方の御苦勞に敬意を表するとともに、松原中ラグビー部存続中はひとかたならずお世話になりましたことに今一度厚くお礼申し上げます。

松原中学校を転出し、今はもうラグビーとも縁がない日々を送っておりますが、今でもあの頃のことを懐かしく思い出します。創部当時、練習場所がなく草津川沿いの国体駐車場跡の砂利の上が主な活動場所でした。ひとたびこけると傷だらけになり、今思うとなんと無茶なことをしていたんだろうと思います。また試合では負けてばかりで、勝つことの難しさを痛感しました。草津市ラグビー祭では、ちびっ子達にいい所を見せようと、対戦相手を選ぶのに苦勞していたように思います。苦勞のかいもあり、草津市のラグビー祭だけは実力伯仲の好ゲームが多く、面目躍如といったところでした。

そんな中、ラグビーの楽しさを知り、高校でもラグビーを続けてくれる生徒も増えて、卒業生の活躍も楽しみの一つとなりました。

そして、創部以来9年目、念願の近畿大会へ出場することができました。その年、お正月に花園ラグビー場で開催される「関西中学生大会」に出場する滋賀選抜チームに多数の選手を送り出すこともできました。下級生が少なく最後のチャンスだったので、チーム全員でお正月までラグビーに打ち込んだのを覚えています。私自身、長い間、選手としてもラグビーをしてきましたが、お正月に花園へ試合に行ったのは、この時がはじめてでした。

部員不足で廃部になり、私も転勤で学校を変りましたが、ラグビー部とともに過ぎた松原中学校での数年間を、皆様方のおかげでとても楽しく、充実した時にして頂きました。本当にありがとうございました。

## ラグビースクールの思い出

昭和50年3月修了生 山本浩房

冬の恒例となっている高校サッカー、ラグビーは、毎年、漫然と観ているだけだが、今回30周年記念誌への寄稿依頼を受け、自分も楕円形のボールを追っかけていたんだなあと思ひ出した。

小学校5、6年だったので昭和49、50年。そうすると、ラグビースクールが始まった当初ということか。あれからもう30年・・・

赤白横縞のジャージーに紺色のヘッドギア、自分では割とカッコいいと思っていたが、楕円形ボールに翻弄され、毛糸玉にじゃれる子猫のようなものだったのだろう。小学生だったので、ルールも確か変則的、1チーム9人、スクラムも3人、タックルは無しで、タッチされると相手ボール？ 今となってはよく思い出せないが・・・

初めての練習日は、多分、草津小学校の教室で。「ノーサイド」と「楽・苦・美（ラグビー）」という二つの言葉を習った。今でも覚えているので当時かなり強烈だったのだろう。ラグビーでは、試合終了のことを「ノーサイド」と言い、それまで試合で力をぶっつけ合ってきた敵味方が一つの仲間となる。これはラグビーだけの言葉で他のスポーツでは言わない。

ラグビーでは試合だけでなく、その後に仲間になることが大事なのだ。だからラグビーは、楽しいし苦しいがとても美しい。

時折帰省して見る草津駅周辺いや草津全体が当然だが、すっかり変わっている。きっと練習をした草津小学校た野村公園のグラウンドも変わっているだろう。しかし、30年もの長きにわたりラグビースクールが続けられているのは、子供達とラグビーに対する関係者方々の変わらぬ情熱のおかげと感謝します。

今後とも草津っ子の健全な成長と地域活性化のためにラグビースクールが継続・発展することを祈念しています。

## 30周年おめでとうございます

昭和51年3月修了生

元・滋賀国体少年の部 全滋賀主将 村田 惣一郎

草津少年ラグビースクール、草津市ラグビーフットボール協会設立30周年、おめでとうございます。

ラグビースクール卒業生として、心よりお祝い申し上げます。

30年の長い歴史は、関係者の熱意と情熱で支えられたことと存じ上げます。

今から思えば、私のラグビーの原点は、当スクールにあったのかもしれませんが。

小学生時代、太り気味であった私を祖父が「体を生かした運動が出来る」と、ラグビースクールへ連れて行ったのです。あの当時は、ボールを持って走るのは好きでしたが、タックルするのは、あまり好きではなかったように覚えています。

また、「ぜんざい」を食べたこと、学区を越えた友達が出来たこと等、ラグビーを通じて学んだことがたくさんあったように思います。

小学校4年生から6年生まで3年間続けて参加出来たこと。中学生になってからも、何回か参加させてもらいました。

当時の指導者で印象に残っているのは、草津高校で指導されていた堀田先生です。私には、会うたびに「高校は草津高校に来て、ラグビーを一緒にしよう」と言われてましたが、残念ながら私は県立八幡工業高校でラグビーをすることになりました。

その後も、大学、社会人とラグビーを続け、今でも40歳以上の惑々チームでラグビーを続けています。

私は、スクール、協会にはまだ恩返しが出来ておりませんが、今後もラグビーを続けることで、恩返しをさせて頂きたいと思っております。

今後も、スクール、協会がますます発展することを願うとともに、関係者の皆様のご活躍をお祈り申し上げます。

## 祝30周年

昭和58年3月修了生

八幡工業高校ラグビー部 監督 東 谷 正 宏

この度、草津少年ラグビースクール並びに草津市ラグビーフットボール協会が創立30周年を迎えられましたこと、心からご祝辞申し上げます。

思い起こせば、20数年前、私はラグビースクールのお世話になっておりました。

当時の私は、ルールもはっきり分かりませんでしたが、泥んこになって楕円球を追いかけていたことを覚えています。

今では、そのラグビーが人生の一部と言っていいほどのものになっています。ラグビーは、努力すること、規律を守ること、礼儀作法、仲間と協力し合うこと、スポーツマンシップ・・・等々、少年が大人に成長していく過程の中で、たくさんの大切なものを教えてくれます。改めてラグビーの教育的価値の大きさを認識しています。

ラグビースクールのちびっ子が、ラグビーを通してたくましく育ってくれることを期待しています。

最後になりましたが、長きにわたってご指導に当たられました先生方をはじめ、多くの関係各位の皆様にお祝い申し上げ、また、更なるご発展を祈念して結びとさせていただきます。

## ラグビーについて

平成9年3月修了生 第82回全国高校ラグビー大会出場（膳所高校）

田 中 聖 人

30周年をむかえおめでとうございます。

僕にとってラグビースクールは大きなキッカケとなりました。

そのキッカケとは、全国大会を目指すことです。

これは去年、膳所高校で果たせました。

また、ラグビースクールでは、ラグビーの楽しさや、いろんなことを学べた6年間だったのでよかったと思います。

ラグビースクールで6年、高校で3年間ラグビーを通して得たもの、また友達はとても今の僕にとって大きなものです。そのような価値あるものを得ることができ、ラグビースクールに入ってよかったと思います。

僕が入った時に比べ、スクールに通う小学生もだいぶ減っている現状ですが、これからも活動頑張ってください。

## ラグビースクールでの経験を経て

平成11年3月修了生

玉川高校ラグビー部 越川 翔

小学4年生になったゴールデンウィークの5月3日、ひとつ上の藤井君と一緒にラグビーをしようと誘われていた僕は、何も分からないまま初めて、草津ラグビースクールに参加した。その日は草津市立図書館の裏にある体育館で開校式があり、新しく入った僕や藤井君も全く知らない人達の中で挨拶をしました。その後、健康診断や背筋力や肺活量の測定を行い、記念撮影で僕のラグビースクールの初日を終えた。

その時点で、今の僕の高校生活がだいたい決まってしまうていた。

その後も僕は毎週、第二小学校のグラウンドにラグビーをしに出向いていた。最初はラグビーがどんなスポーツかも分からないまま、6年生、5年生の先輩や僕より先にやっている4年生、3年生のやっていることを、一生懸命にマネしていた。そんな中、3ヶ月ぐらいすぎ

た夏休みに、ラグビーの試合があった。でも、まだまだ僕は週1回の練習について行くのに精一杯でルールなんか全然分からなかったの、まだ試合に出れるなんて思わなかった。だが、スクールの監督に言われて、6年生の試合に出た。体の大きい相手がくると恐かったし、ボールをもらっても、まっすぐ全速力で走ることしか出来なかった。

けど、試合が終わると、何もやってないくせに何故か達成感があったし、ラグビーが急に楽しくなってきた。そして、その後も楽しくなってきたラグビーを小学校を卒業するまで3年間続けた。その間にたくさん試合もしたし、夏にはキャンプをした。冬には花園に高校ラグビーを見に行ったり、ぜんざいも食べた。

小学校6年の時の秋、草津市民体育大会で玉川高校を僕は訪れた。そして、高校生や社会人の人達とタグラグビーをしたのを覚えている。その時もすでに玉川高校のラグビー部の顧問だった武田先生に出会い、気が早いながら、玉川高校に入ることをすすめられた。その後、中学校に入り、ラグビーとは無関係の生活を送っていたが、高校に入り、今、僕は玉川高校のラグビー部に所属している。今は、小学校のラグビースクールの時と同じ達成感や、楽しいだけじゃない痛さやシンドサなど辛い面がプラスされている。

だけど僕は今の高校生活の中心がラグビーであり、大いに充実されている。今、現在高校ラグビー部に所属している草津ラグビースクールの友達は知らないけれども、僕はやってきてよかったと思っている。だからあの小学四年の時の5月3日のあの日にラグビースクールに行ったことをナイス判断だったと我ながら思い続けている。

最後に、やっぱり今でもデカイやつがまっすぐ走ってくるのにタックルに行くのは、ぶっちゃけ怖いです。

## ラグビースクールで・・・

平成14年3月修了生 内 山 良 太

ぼくは、小学校2年生から草津ラグビースクールに通い始めました。

ぼくの自慢は、4年間、練習を1回だけしか休んでないことです。

初めは、ただなんとなくラグビーをしていたのが、上級生になっていくにつれ、試合や練習がだんだん楽しくなってきました。特に、初めて試合に勝った時や、初めてタックルを決めた時は、たまたまのうまいほどうれしかったです。

試合や練習以外に、草津ラグビースクールには、キャンプや、ぜんざい会があります。キャンプは夏休みに1度、ラグビースクールのメンバーで桐生に1泊2日で行くことです。

キャンプでの思い出は、川で泳いだり、きもだめしをしたり、夜テントでトランプをしたりして遊んだことです。

ぜんざい会というのは、1月に練習の終わった後、公民館に集まってみんなでぜんざい

やみかんを食べながら、1人1人、今年の目標を発表する会です。

他にも、1年に1度、玉川高校のラグビー部の人達と、タグラグビーの試合をしたりしました。

ぼくがラグビースクールで一番印象に残ったことは、6年生での試合です。

モールでボールがとられそうになった時、「ここでとられてたまるか」と思って最後までボールを放さずくらいついていきました。

結果は、大差で負けてしまいましたが、あの「とられてたまるか」と思い、ボールにしがみついていた事は無駄でなかったと思います。

今後は、ラグビー以外でも「負けてたまるか」と思ってがんばりたいと思います。

## 3人の息子がお世話になりました

保護者 澤 田 敬 一

草津市ラグビーフットボール協会ならびに、草津少年ラグビースクール30周年おめでとうございます。

私は5人の子供がいますが、上3人が男の子で3名ともラグビースクールにお世話になりました。大きな事故や怪我も無く3名とも無事卒業させていただきました。

最初のスクールとの出会いは草津駅に車で行く途中草津第二小学校で練習されているのを見かけ、当時長男・小学一年生、次男・保育園年中でしたが、かねがね男の子には絶対ラグビーをさせたいと云う想いが在ったのですぐに練習入って行き下山先生に入校の願いをしました。規則では小学生三年生からでしたが特別に入校を認めていただき次の週より練習に参加しました。2人とも何も分からず親の我儘で入校し、冬の練習の雪解けの中を泥だらけに走っている姿やボールが濡れて手が凍り付いて痛くてべそをかいていたのを思い出されます。

長男は今年で高校三年生、次男も高校一年生になりました。三男は昨年スクールを卒業させていただき、中学でもラグビーをしたいと云う想いから大津の瀬田北中学校の方へ通いラグビーを続けております。

3名ともラグビースクールに通うことによって人への思いやり、チームワークの大切さを学ばせてもらったと感謝しております。ラグビーは一番プレー人数が多いスポーツですが、少子化等により生徒を集めるのが大変な時代になってきています。ラグビーをプレーして得る精神力やチームプレーは社会に出て役立つものばかりだと私は思いますので、これからも是非がんばってください。



昭和48年度開校式 (S48. 10. 10草津第二小)



練習風景



ぜんざい会 (S49. 1草津高校)



昭和48年度修了式（S49．3草津小）



修了式（駒井校長より修了証の授与）



第1回滋賀県ラグビースポーツ少年団大会（S49．2．24瀬田工高）



昭和49年度開校式（草津第二小）



第2回滋賀県ラグビースポーツ少年団大会（S50.2.11野村グラウンド）



堀田先生と6年生チーム



小西 実先生（県協会理事長）



昭和58年度開校式（S58．4草津第二小）



指導風景（堀田先生）



昭和60年度開校式（S60．4草津第二小）



昭和61年度キャンプ（桐生キャンプ場）



昭和62年度キャンプ（桐生キャンプ場）



平成元年度キャンプ（桐生キャンプ場）



昭和61年度修了式（S62. 3草津小）

修了生（6年生）



昭和62年度開校式（草津第二小）



平成3年度開校式（市働く婦人の家）

## 20周年記念・福井ラグビースクールとの交流

(H4. 11. 14 福井県立藤島高校)



遠征メンバー全員



スクール代表あいさつ



お土産の交換



平成7年度開校式（ふれあい体育館）



平成8年度開校式（ふれあい体育館）



練習風景（H14．3草津第二小）



平成13年度修了式（H14．3草津第二小）



高校決勝戦の前座試合（H15．11皇子山G）



平成14年度修了式（H15．3松下エアコンG）



九谷校長より修了証の授与



ぜんざい会（H16．1玉川公民館）

市民体育大会（H15. 11. 24 玉川高校）



奥野先生（タグラグビーのルール説明）



試合風景（NO.1）



試合風景（NO.2）



奥村会長あいさつ

30周年記念・ラグビースクール交流大会（H16.3.8松下G）



開 会 式



開会式（奥村会長あいさつ）



開会式（九谷校長あいさつ）

### 草津少年ラグビースクール指導者名簿

| 役 職                                | 氏 名   | 住 所             |
|------------------------------------|-------|-----------------|
| 校 長                                | 九谷 修  | 草津市大路1丁目18-31   |
| 指導者                                | 下山 元明 | 〃 片岡町171-50     |
| 〃                                  | 田中 聖一 | 〃 若草6丁目1-3      |
| 〃                                  | 内山 浩一 | 〃 渋川1丁目1-30-710 |
| 〃                                  | 奥村 恭弘 | 〃 上笠3丁目12-21    |
| 〃                                  | 堀井 三広 | 大津市石山寺5丁目4-6    |
| 事務局：下山元明 草津市片岡町171-50 TEL 568-2436 |       |                 |

### 草津市ラグビーフットボール協会役員名簿

| 役 職                               | 氏 名   | 住 所・所 属         |
|-----------------------------------|-------|-----------------|
| 会 長                               | 奥村 恭弘 | 草津市上笠3丁目12-21   |
| 副会長                               | 奥野 晃広 | 玉川高校            |
| 顧 問                               | 高田 達  | 草津市草津1丁目6-3     |
| 〃                                 | 堀田 制省 | 〃 野路1丁目3-2-1105 |
| 理事長                               | 堀井 三広 | スクール            |
| 理 事                               | 下山 元明 | スクール            |
| 〃                                 | 武田 浄  | 玉川高校            |
| 〃                                 | 宮内 俊英 | リゲルサントス         |
| 事務局：堀井三広 大津市石山寺5-4-6 TEL 534-1710 |       |                 |

### <編集後記>

ラグビースクールについては、高校時代のラグビー部顧問の高田 達先生との関係や職場が草津市ということで準備段階から関わり30周年を迎えた。思えばスクールが開校した昭和48年頃は、高校のOBチームや草津市役所ラグビー部に所属し県体や実業団リーグの試合に出たり、また昭和54年頃からは滋賀国体のレフリー候補者としてあっちこちの試合の笛を吹いていた。日曜日はラグビー優先の生活が続き、時にはスクール・試合・レフリーの3つが重なった日もあったが苦痛と思ったことはなかった。あれだけ熱中出来たのはやはり若かったのだろう。加えてラグビーのもつ不思議な魅力のためだろう。

さて、スクール・ラグビー協会30周年の記念誌担当者として、思いつくままに原稿を依頼し、御迷惑をかけたと思いますが、快く原稿を書けていただき感謝しております。押入れにしまい込んでいた古い写真等を整理し、慣れないパソコンと悪戦苦闘、なんとか記念誌をまとめることが出来、ほっとしております。本誌からラグビースクール・ラグビー協会30年間の歩みや、関係者のスクール・ラグビーについての思いが伝わり、ラグビーの普及振興に役立つことが出来れば幸いです。

(H16. 3. 15 堀井三広)



スクール旗



ジャージ

ONE FOR ALL  
ALL FOR ONE